

12月リフレクション

～自分を知り、友だちを知る～

福山市立大谷台小学校

校長 四良丸 優子

学校教育目標「学び 伸びる」三つのキーワード「自律・尊重・挑戦」をいつも子どもたちと先生と共有しながら、大谷台小学校の2学期を過ごしました。1時間1時間の学習と日々の生活の中で、多くの学び伸びた瞬間がありました。毎日のいろいろな場面で、自分で考える、友だちのことを考える、その全てがチャンスとなり、大きく成長したと感じられる2学期です。

7月12日の全校朝会で「節づくりチャンス」として得意なこと好きなことを披露する時間「大谷台ショータイム」を始めました。初回は6年生、7人がエントリーして発表しました。それが、12月22日の終業式の日には、なんと、24人のチャレンジャーがエントリーしてくれました。あんな6年になりたいと憧れるような姿を目にした影響もあったのでしょうか。見守る友だちの拍手がとても温かく、心地よい時間となりました。3学期には「自分が挑戦するぞ」という気持ちになった人もたくさんいるようです。

また、「大谷台小学校今年の漢字」と題して自分で選んだ漢字を募集したところ、子どもたちは一人ひとり1年間の出来事に思いを馳せながら、1字を決めました。私も選ぼうとするといろんな場面がよみがえり、なかなか1字に決めるのは難しいことでした。それに理由まで考えると、大変な作業です。

子どもたちが選んだ漢字で多かったのは「挑、戦、節、学、楽」などでした。子どもたちの思いにふれるとても大事な1枚になりました。節目に思いを書くことで自分を知ることにつながります。

新しく始まる2024年も、1日1日、一步一步、歩みを進めていきます。



玄関のことは「知得コーナー」は毎日使う言葉の意味やことわざ、詩などの本があります。ご来校の際はぜひご覧ください。貸出もしています。